

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2001-337547(P2001-337547A)

【公開日】平成13年12月7日(2001.12.7)

【出願番号】特願2000-155117(P2000-155117)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16 103

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月15日(2006.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

ベルト幅方向の前・中・奥の各部で、ベルト周方向に同様な厚さのプロファイルを持つ搬送ベルト8に対し、図1に示すように、その基準を示す位置にホームポジションとなるマークMを付す。また装置内にマークMを検出するセンサーSを設ける。このセンサーSによってマークMを検出することにより、搬送ベルト8の全周長に対する基準位置が判別され、搬送ベルト1周の基点が定められるので、予め測定された全周における厚さプロファイルを管理することができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図面の簡単な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の画像形成装置の一実施例における記録材搬送手段を示す斜視図である。

【図2】

図1の記録材搬送手段の搬送ベルトの全周にわたる厚さプロファイルの測定例を示す図である。

【図3】

搬送ベルトにおける面電荷密度の変化量を搬送ベルト速度変動 V_L および転写電流 I_{tr} とともに示す図である。

【図4】

図1の実施例による転写電流制御を行ったときの面電荷密度変化の一例を搬送ベルト速度変動 V_L および転写電流 I_{tr} とともに示す図である。

【図5】

搬送ベルトにおける面電荷密度変化量を搬送ベルト厚さ変動 h_L および転写電圧 V_{tr} とともに示す図である。

【図6】

本発明の他の実施例による転写電圧制御を行ったときの面電荷密度変化の一例を搬送ベルト厚さ変動 h_L および転写電圧 V_{tr} とともに示す図である。

【図7】

従来の画像形成装置を示す概略図である。

【符号の説明】

1 a ~ 1 d 感光ドラム

4 a ~ 4 d 転写帶電器

8 記録材搬送ベルト

10 駆動ローラ

M マーク

S センサー